



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン情報

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、全国の自治体が大会参加国・地域の選手を受け入れ交流する機会を作る「ホストタウン事業」に取り組んでいます。本市では、2020年9月にリベリア共和国大使館とホストタウンパートナーシップ協定を締結し、10月にリベリア共和国のホストタウンに登録されました。リベリアの選手や国民の応援・交流を通じ、SDGsについてできることを考え行動しましょう。

☎ スポーツ振興課 ☎ 33 - 8855

パラスポーツ研修会

2月11日、象潟公民館でパラリンピックアイスホッケー銀メダリスト上原大祐氏によるオンライン講演が行われました。障がいという逆境の中で、自ら変えていく力「チェンジはチャレンジからしか生まれない」と、自身の経験を熱く語りました。また、秋田県ポッチャ協会によるポッチャ指導研修や本市の地域おこし協力隊で障がい者スポーツ指導員の小林裕高さんによる牽引式車いす補助具JINRIKIの体験など、パラスポーツに触れた1日となりました。



▲上原氏の講演を聞くスポーツ推進委員の皆さん



▲牽引式車いす補助具JINRIKIについて説明する小林さん

参加者の声

- ・自分の人生に悲観しない生き方、前向きな考え方や行動に感動。
- ・一人のために何が出来るか？この考え方が大切だと感じた。
- ・車いす補助具は今まで車いすで避難する現場で使用するものだと思っていたが、自己選択・決定がある話が聞けて良かった。



参加者の声

リベリアの高校生とホストタウンサポーターによる 公開オンライントークinにかほっと

2月11日、にかほっとで公開オンライントークが行われ、仁賀保高校と由利高校の生徒たちや市民の方々が参加しました。リベリアからは2校の高校が参加し、お互いが質問するたびに文化の違いを実感する生徒たちの姿が見られるなか、仁賀保高校の生徒たちはリベリアのメジャーな応援スタイルを披露し会場を盛り上げました。



▲リベリアの応援を披露した仁賀保高校の生徒

また、有志による皆さんがスティーブンスさんと一緒にリベリア国歌を斉唱するなど、会場はリベリア一色に染まりました。



▲リベリアの高校生とリベリアの国歌斉唱

- ・リベリアでも男女の社会参画が重視されていることが分かった。
- ・違いや共通点を知ることが大切だと思った。手紙を通して交流をしてみたい。
- ・初めてリベリアの方々と顔を見て交流でき、学校や生徒の様子を見ることができた。
- ・リベリア式応援「クワクワエー！」で盛り上がった。今回のような対話のある交流事業をしていきたい。
- ・もっと英語を聞き取れるようがんばろうと思った。貴重な体験ありがとうございました。

▲由利高校の生徒と通訳の亀崎さん

東京2020大会ホストタウンパートナーシップ協定 2020 TOKYO GAMES HOST TOWN PARTNERSHIP AGREEMENT



千客万来 にかほ本舗

広報で伝える市内店舗の魅力、商工会加盟店の紹介と人気商品の読者プレゼントコーナー

第17回 幸月堂菓子舗

毎度ご愛顧いただきありがとうございます。今回は、幸月堂菓子舗さんをご紹介します。明治後期の創業から120年以上続く老舗。3代目・齋藤好且さん、そして東京での修行を終えお店を継いだ息子の4代目・幸夫さんが中心となり、家族みなでお店を切り盛りしています。和洋折衷のお店には焼き菓子やケーキが豊富に並び、普段からご近所さんや馴染みのお客さんが多く訪れる地元の菓子舗です。

幸夫さんは、「お客さんのニーズに応えられるよう、そして何よりもいい物を届けられるよう努力していきます」と語ってくれました。今回、幸月堂菓子舗さんから、人気商品「いちじくパイ」を8名様にプレゼント！アニメキャラのオリジナルケーキなどもお受けしています。お子さんの誕生日などには、ぜひ幸月堂菓子舗さんにご用命ください。



大竹産いちじく使用「いちじくパイ」を8名様にプレゼント！



幸月堂菓子舗
(にかほ市平沢字中町47)
時間：9:00～18:30
定休日：日曜日不定休
(基本第3日曜日が定休日)
問合先：☎ 35 - 3240



応募方法 ハガキ、FAX、QR (申し込みフォーム)
記入事項 発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、『広報にかほ』への意見・感想等を記入
応募期限 3月25日(木)
応募先 〒018-0192
にかほ市象潟町字浜ノ田1
にかほ市役所
「広報にかほプレゼント係」
FAX 0184-62-9013 QRコード
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～

vol.75

『ジオパークガイドは地球の案内人』

ジオパークは世界遺産と同じユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の正式事業だということをご存じでしょうか。両者を比較して「世界遺産は資源が主役、ジオパークは人が主役」と言われることがあります。「ジオパークは人が主役」と言われる所以は、ジオパークには地球科学的に価値ある遺産を守りながら、持続可能な社会に貢献する活動が求められるからです。そのためジオパークには、4年に1度の再認定審査が行われています。

鳥海山・飛島ジオパークでは多くの人がつながり、地域の価値を高めながらさまざまな活動が行われています。その代表が鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドの皆さんです。現在、この地域には68

人の認定ガイドが活躍しています。ジオサイトといわれるジオパークの見どころを楽しくガイドするほか、保全活動や社会教育・学校教育の現場でも活躍されています。高いトレーニングを積んだジオパークガイドには多面的な役割が期待されていて、その活躍はジオパークネットワークからも高く評価されています。

2021年度は新規にガイド養成講座をスタートさせる予定です。皆さんもジオパークガイドとして人と地球の関わり大切さを伝える活動に参加してみませんか？



▲ジオツアーを楽しむ修学旅行生



鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会 主任研究員 岸本 誠司